

平成30年2月7日

福島大学附属中学校教諭関根智美先生が 文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞

2018年1月15日（月）、福島大学附属中学校教諭 関根智美先生が、平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞しました。

関根先生は15年間の公立中学校、2年間の福島県教育庁、および2年間の公立小学校の経験を経た後、2013年度から本校に勤務し、体育科教員として、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、体力の向上には「他とのかかわり」が重要であると考え、そこに重点を置いた研究テーマを掲げ、生徒の体力の向上に向けて実践を重ね、県内外にその成果を発信してきました。

具体的な手だてとしては、「体づくり運動」領域における「5分間トレーニング」の実施、「聴き合い活動」の設定、「ソーシャルサポート」の活用です。これらの手だてにより、生徒は、他との関わりの中で、自分の健康や体力の課題を解決する方法に気づき、思考力や判断力を身につけ、主体的に自己の体力の向上に取り組んでいます。その結果、生徒の体力は確実に向上しました。

2016年11月11日に開催された全国学校体育研究大会で公開授業を行うとともに、優れた実践は、学校体育に関する専門誌に取り上げられ、全国に紹介されました。
（大修館書店「体育科教育」2017.11月号）

また福島県教育センターの講師や、福島大学の保健体育教育法の講師として、本県体育科教員の指導的立場に立って教員研修に携わっているほか、現在は福島県教育庁健康教育課で作成している「健康教育の手引き」の「保健教育・生活習慣（肥満予防）」の部分を担当するなど、体育教育の指導法の普及に大きく貢献しています。

これらの意欲的な取り組みの姿勢が、他の教員の模範となる者と認められ、このたびの受賞に至りました。

（お問い合わせ先）
福島大学附属中学校副校長
菅野浩智
電話：024-534-6442